

令和5年度伊勢志摩国立公園地域協議会 議事概要

日時：令和6年3月13日（水）14:00～16:30

場所：三重県営サンアリーナ 国際会議室

1. 開会

- 開会にあたり、三重県農林水産部の宮崎次長が挨拶を行った。

2. 議事

(1) 令和5年度の代表的な取組について

- 資料3-①について、伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会が説明した。
- 資料3-②について、国土交通省 中部運輸局が説明した。

(伊勢志摩国立公園協会)

伊勢神宮を「A面」、その他を「B面」という表現に抵抗を感じる。他の表現方法があればよい。

(中部運輸局)

実施主体が、審査員に響くような表現を意識したまでである。全ての観光資源がA面であることは、当然のことながら、地元の関係者は承知している。

(伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会・鳥羽市エコツーリズム推進協議会)

これまでガイド自身が車を運転し、観光客を運送することができなかった場所があったが、規制緩和により全体的に可能になったと聞いている。運送許可の通達が3月1日付けで出ているが、いつから施行されるのか。

(中部運輸局)

3月1日から施行される。

(志摩市)

ハード面の整備でも補助金の対象になるのか。

(中部運輸局)

ソフト面の事業が対象であり、ハード面については対象外である。

- 資料3-③について、三重県 地域連携・交通部 南部地域振興局が説明した。

(環境省)

二次交通の対策は、具体的にはJRの駅から歩くような内容か。

(三重県)

まずは、来訪者の動向やニーズなど実態調査を行い、バスかタクシーかどのような交通手段になるかわからないが、を調整のうえ、実証実験を予定している。

- 資料3-④について、鳥羽市 観光商工課・NPO 法人伊勢志摩バリアフリーツアースセンターが説明した。

(伊勢志摩国立公園協会)

伊勢おもてなしヘルパーは、内宮正宮では車椅子を持ってどこまで上がるのか。

(伊勢志摩バリアフリーツアースセンター)

階段を上った賽銭箱の前まで行く。

(伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会・鳥羽市エコツーリズム推進協議会)

伊勢神宮以外、または他地域などにヘルパーとして同行するガイドは検討しているのか。

(伊勢志摩バリアフリーツアーセンター)

今は点でしかサポートできていない。需要はあると感じる。

(伊勢志摩国立公園エコツアーリズム推進協議会・鳥羽市エコツアーリズム推進協議会)

ハードルがあれば教えてほしい。

(伊勢志摩バリアフリーツアーセンター)

伊勢市で育成したヘルパーが、鳥羽市など行政区域を越えた活動をしてよいのか判断しかねる。

➤ 資料3-⑤について、環境省 中部地方環境事務所が説明した。

(鳥羽市)

作成されたマップは、横山ビジターセンターと環境省の HP 以外の媒体でも紹介される予定か。

(環境省)

HP 上でリンクを公開する予定であるため、拡散してほしいと思う。電子データを共有することも可能。是非活用いただきたいと思う。

(伊勢志摩バリアフリーツアーセンター)

ルールやマナーについての表現方法に共感した。

(伊勢志摩国立公園協会)

実際、どれほどの外国人客が山に訪れているのか知りたい。

(環境省)

環境省では集計していない。

(皇學館大学)

海外の方から見ても良いマップだと思う。慎重にハイキングしようと思っている方が情報を得ることができるよう、危険情報に関するリンクをウェブサイトに掲載することも一つの案である。

(2) 伊勢志摩国立公園地域協議会アドバイザーの変更について

➤ 資料4について、環境省が説明した。

➤ 変更案に対する意見はなく、皇學館大学についてはメイヨー氏に代わる方を事務局が探すこととなった。

(3) 伊勢志摩地域の事業者の外国人観光客受入に関する意識調査について

➤ 資料5について、環境省が説明した。

➤ 外国人の方2名(ジョナサン・パレキ氏、カズ・ポーリン氏)をゲストに招き、訪日観光客が伊勢志摩に対してどう思っているのか等、観光事業者が訪日観光客に聞いてみたいことを一問一答形式で回答してもらった。

(4) その他

➤ 一同、意見なし。

3. 報告事項

➤ 資料7について、環境省が説明した。

(伊勢志摩国立公園協会)

伊勢志摩国立公園 80 周年に向けて、4 月 10 日に記念講演を実施予定である。

4. 閉会

- 閉会にあたり、環境省中部地方環境事務所の野村次長が挨拶を行った。